

議会報

第139号

平成24年5月

ざかいほう

編集・発行 長南町議会広報特別委員会

〒297-0192 千葉県長生郡長南町長南2110 TEL 0475-46-3390 (議会事務局)



野見金公園で行われた「長南さくらまつり」

第1回定例議会

町の花 ベニバナ

- 平成24年度各会計当初予算など31議案を可決……………2～5
- 条例の制定・一部改正……………5～6
- 平成23年度補正予算……………6
- 人事案件……………6
- 一般質問……………7～13
- 議会閉会中の継続調査報告書……………13



環境に配慮した「大豆インク」を使用しています。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

第1回定例議会

平成24年度各会計当初予算など31議案を可決

平成24年第1回定例議会は、2月28日から3月7日までの9日間の会期で開かれました。平成24年度当初予算をはじめ平成23年度の補正予算、条例の制定・一部改正、規約の変更協議など31議案を審議しました。

なお、平成24年度一般会計予算については、内容が複雑多岐にわたるため、予算特別委員会を設置し、詳細な審査を行いました。審議の結果、全議案原案のとおり可決しました。また、一般質問は8人の議員が行い、論議が展開されました。

一般会計予算

41億8,000万円 《前年度比0.9%増》

平成24年度予算は、国・県の予算編成方針、長南町第4次総合計画や過疎地域自立促進計画に基づき、限りある財源の確保に努めるとともに、施策の優先順位を明確にし、後世に誇れるまちづくりに取り組むことを目標として編成されました。

その内容は、昨年から実施している地上デジタルテレビ放送無線共聴施設設置事業をはじめ、介護給付費や医療費

に関する経費、農地の集積による土地利用の推進に対する支援の強化などが主な事業となっております。

質疑(要旨)

問 防災行政無線デジタル化工事について伺います。

答 アナログ方式の戸別受信機は、現在では製造されていないため、デジタル方式に変更を行います。現在、役場に設置してある操作盤はアナログ方式とデジタル方式の併用仕様となっておりますが、デジタル化のためには野見金の中継局と子局1局が必要になります。工事の工程は、免許取得から1年程度必要となります。

会計別当初予算の内訳

会 計	平成24年度予算額 (千円)	伸率 (%)		
一 般 会 計	4,180,000	0.9		
特 別 会 計	国民健康保険	1,153,500	△0.5	
	後期高齢者医療	97,500	1.6	
	介護保険	1,109,200	5.2	
	笠森霊園事業	62,700	△8.6	
	農業集落排水事業	236,000	△4.1	
企 業 会 計	ガス事業	収益的収入	637,555	15.1
		収益的支出	635,886	14.9
		資本的収入	65,008	5.3
		資本的支出	219,649	△9.5

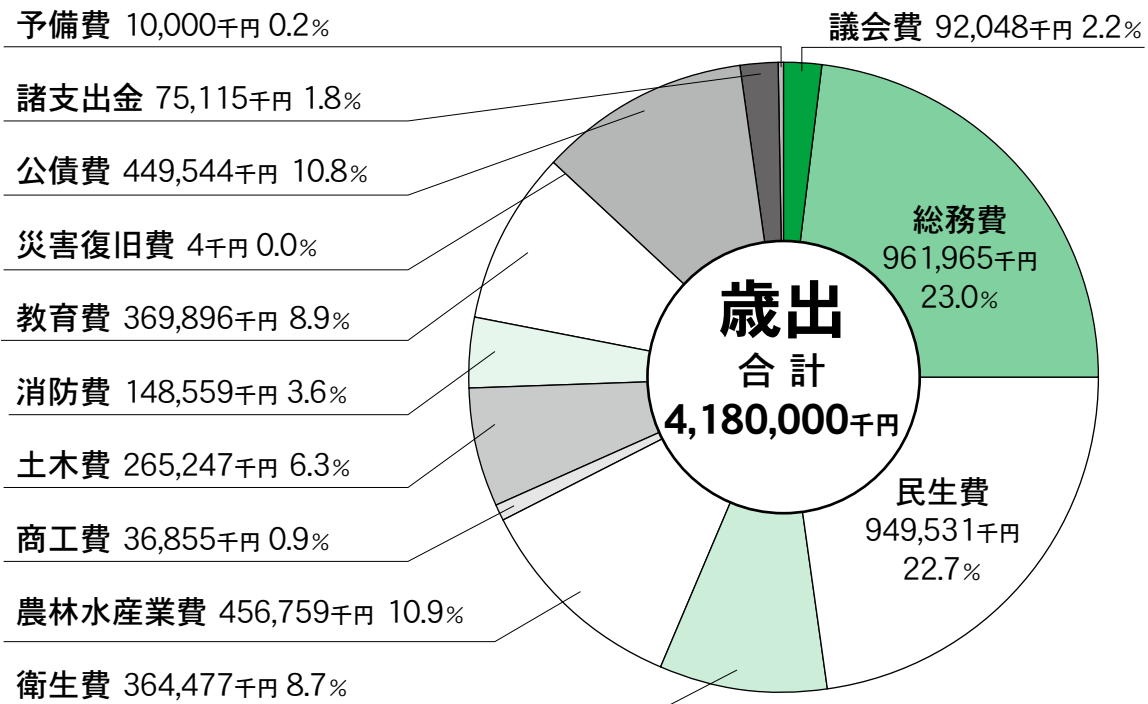
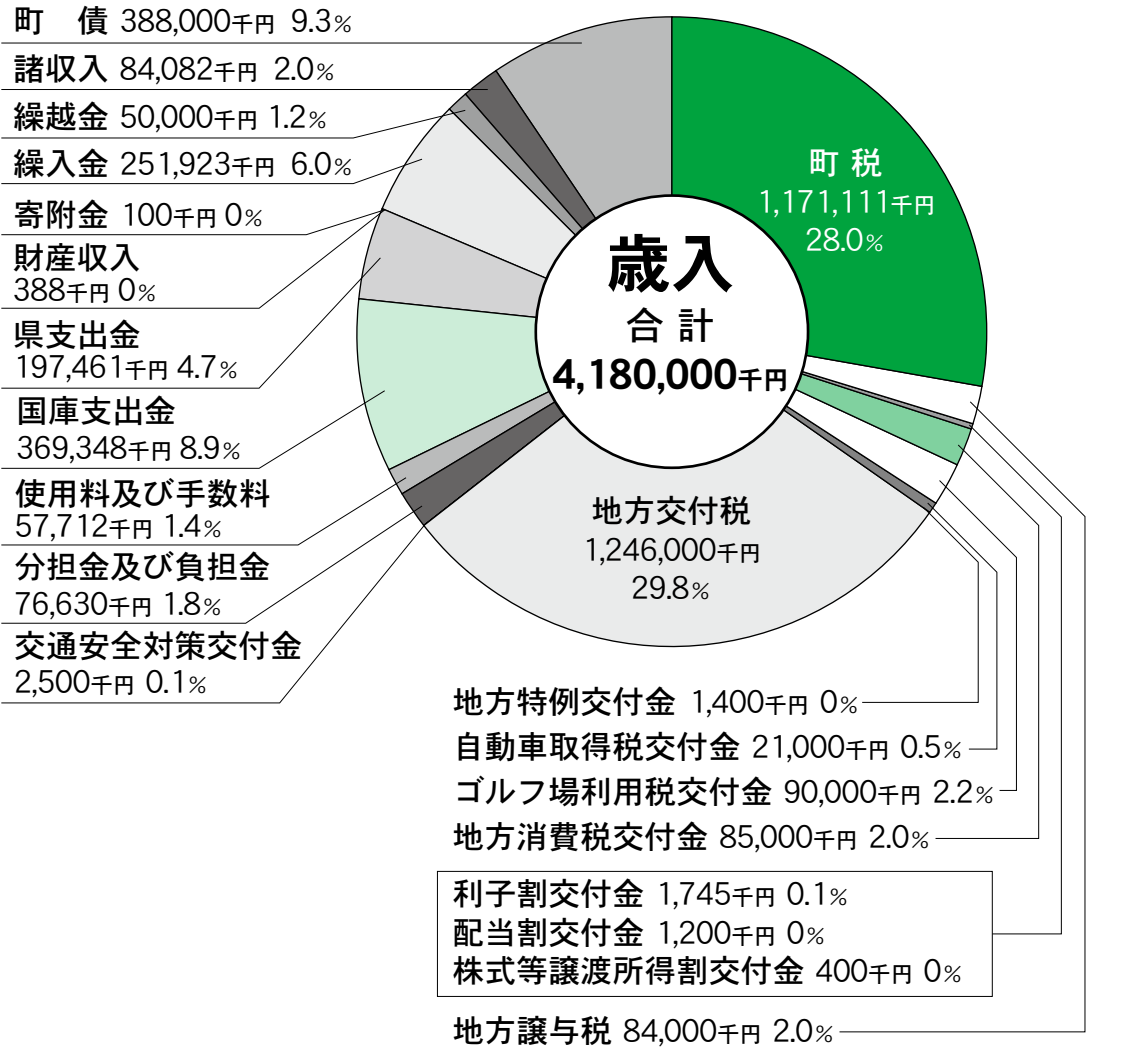
問 過疎対策事業債と地方交付税措置について伺います。

答 過疎対策事業債を借り入れる場合の償還方法は、3年の据え置き期間を

含めて12年間の償還となっております。毎年支払う元利償還金の70%が地方交付税算定の際、基準財政需要額に算入されます。

一般会計予算状況

41億8,000万円



平成24年 長南町議会第1回定例会提出議案等 議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	長南町暴力団排除条例の制定について	原案可決
議案第2号	長南町行政改革推進委員会設置条例の制定について	原案可決
議案第3号	長南町健康づくり推進協議会設置条例の制定について	原案可決
議案第4号	長南町介護保険運営協議会設置条例の制定について	原案可決
議案第5号	長南町ガス事業運営協議会設置条例の制定について	原案可決
議案第6号	長南町建設委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第7号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第8号	長南町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第9号	長南町税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第10号	長南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決
議案第12号	長南町道路線の変更について	原案可決
議案第13号	平成23年度長南町一般会計補正予算（第5号）について	原案可決
議案第14号	平成23年度長南町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
議案第15号	平成23年度長南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第16号	平成23年度長南町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第17号	平成23年度長南町笠森霊園事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第18号	平成23年度長南町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第19号	平成23年度長南町ガス事業会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第20号	平成24年度長南町一般会計予算について	原案可決
議案第21号	平成24年度長南町国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第22号	平成24年度長南町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第23号	平成24年度長南町介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第24号	平成24年度長南町笠森霊園事業特別会計予算について	原案可決
議案第25号	平成24年度長南町農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第26号	平成24年度長南町ガス事業会計予算について	原案可決
議案第27号	長南町公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第28号	長南町町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第29号	長南町重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任と認める
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任と認める



▲予算特別委員会による現地視察

予算特別委員会は3月2日に議長を除く13人で設置しました。

平成24年度一般会計予算の内容は複雑多岐にわたっており、慎重かつ詳細に審査する必要があると認め、総務、産業建設、教育民生の3つの分科会を設置し、3月5日に執行部の出席を求め、書類審査と現地調査を行いました。3月6日に3分科会の審査結果報告を求め、次の意見・要望を付し、平成24年度一般会計予算は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会
委員長 丸 敏光

意見要望事項

- 1 防災行政無線は、非常緊急時における通報及び広報活動を円滑にして、住民福祉の増進や安全・安心を目的に設置してあります。現在使用しているアナログ式戸別受信機が製造されていないことから、速やかにデジタル化に移行し、町民生活に支障のないよう努められたい。
- 2 地上デジタル放送の難視対策は、一日も早くデジタル放送が視聴できる環境整備を図るとともに、高齢者世帯の多い状況を踏まえ、施設完成後においても、きめ細やかな対応に努められたい。
- 3 マスコットキャラクターについては、町の特徴を町内外に対し十分発信することができ、地域振興に寄与するような、また、町民に愛され、親しみやすいキャラクターを作成するよう努められたい。
- 4 農業の推進にあたっては、耕作できなくなった農地を担い手となる営農組合や大規模農家等に集積し、集団化、大規模化を図り、農地の維持保全の施策である全農家参加型農業を推進するとともに更なる周知をされたい。
- 5 地籍調査事業の実施計画策定にあたっては、長期にわたり、財政的、人員的負担が予想されるため、厳しい財政状況を踏まえ、町民への説明周知を十分に行うなど、計画的かつ円滑な事業の推進に努められたい。
- 6 長南町学校規模適正検討委員会の提言を尊重し、(仮称)長南町学校適正配置検討委員会を早急に設置して、長南町の子どもにとって、より良い小学校の在り方について十分検討され、方向性を示されたい。
- 7 中学校の新学習指導要領による体育の授業では、武道が必修となるので、安全に配慮して、武道の伝統的な考え方や基本的な技等が身に付くように工夫し、積

極的に取り組まれない。各種検診をはじめとした予防事業の重要性を十分に周知するとともに、各種予防教室等への積極的な参加を促し、町民の健康増進と疾病予防に努められたい。

条例関係

〈制定〉

□長南町暴力団排除条例

反社会的勢力である暴力団から町民を守り、安全で平穏な生活を確保するとともに社会経済活動の健全な発展に寄与するため条例を制定するものです。

□長南町行政改革推進委員会設置条例

□長南町健康づくり推進協議会設置条例

□長南町介護保険運営協議会設置条例

□長南町ガス事業運営協議会設置条例

要綱等により設置していた4つの委員会および協議会については、地方自治法で規定される、条例により設置するべき附属機関であるた

め、新たに条例を制定するものです。

質疑(要旨)

問

長南町暴力団排除条例にある、暴力団排除相談員については、いつからどのような形で、誰に委嘱するのか伺います。

答

当面は警察に相談を受けていただくようにしたいと考えています。今後、相談件数が多くなるようであれば、警察に推薦していただき、改めて相談員を置きたいと考えています。

〈一部改正〉

□長南町建設委員会設置条例

町長の諮問機関として、まちづくりを総合的に調査・審議するために長南町建設委員会は設置されていますが、所掌事務がより明確なものとなるよう、委員会の名称を『長南町まちづくり委員会』とするものです。

□職員勤務時間、休暇等に関する条例

休暇の管理を暦年(1

月(12月)から年度(4月(3月)管理に切り替えるものです。

□長南町一般職の職員の給与等に関する条例

人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告に基づき、現給保障を平成24年度分については、1/2の額とし、平成25年度から廃止するものです。

□長南町税条例

地方税法ほか関連法令の改正に伴い、税条例を改正するものです。主な内容は、町たばこ税の税率改正、退職所得にかかる個人住民税の税額控除の廃止、東日本大震災関連として、平成26年度から10年間に限り個人住民税の均等割の税率を500円加算して3,500円とするものです。

□長南町介護保険条例

平成24年度から平成26年度までの介護保険料について、基準額を月額4,800円(年額57,600円)とするものです。

□長南町公民館条例

社会教育法の改正に伴い、公民館運営審議会委員の委嘱に関する基準を条例

により定めるものです。

長南町営住宅管理条例

公営住宅法施行令の改正に伴い、町営住宅の入居者資格などを改正するものです。

長南町重度心身障害者の医療費助成に関する条例

高額治療継続者に係る所得制限の適用除外措置を平成27年3月31日まで延長するものです。

一部事務組合に関する協議

千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

組合の組織団体である銚子市、松戸市から共同処理事務の追加依頼があったことに伴い、組合規約の一部を改正することについて協議するものです。

平成23年度 補正予算

一般会計(第5号) 277万1千円を減額

事務事業の執行にかかる精算、財政調整基金や地域農業推進基金などの各種基金への積立てを主に補正す

るもので、補正後の総額は43億2,328万3千円です。なお、子ども手当システム改修事業、坂本・利根里地区の基盤整備事業の一部については、平成24年度への繰越し事業として行います。

質疑(要旨)

本庁舎耐震補強工事実施設計について伺います。

平成22年度に本庁舎の耐震診断を行い、その結果を受け平成23年度に実施設計を発注しました。設計を行

うにあたり建物の内部、床、天井を剥がして詳細に調査したところ、損傷が激しいことが判明したので、建物の現状について第三者判定委員会からの助言をいただき、その後設計を行うこととしました。

学習支援指導員の職務の内容について伺います。

不登校対策、特別に支援を要する児童・生徒に対する指導・助言などを行って行います。

国民健康保険特別会計(第4号) 5,168万6千円を減額

保険給付費及び保健事業費の精算並びに財政調整基金への積立てなどを主に補正するもので、補正後の総額は11億2,986万1千円です。

後期高齢者医療特別会計(第1号) 140万円を減額

決算を見込む中で保険料及び広域連合への納付金の減額などを主に補正するもので、補正後の総額は9,460万円です。

介護保険特別会計(第3号) 7,462万2千円を減額

介護療養型医療施設サービスマスターの事業廃止による保険給付費の減額、介護予防事業費の精算及び平成22年度超過交付となった国・県支出金の返還金などを主に補正するもので、補正後の総額は9億9,429万円です。

笠森霊園事業特別会計(第2号) 359万4千円を減額

歳出では光熱水費、委託料、工事請負費の精算による減額補正、歳入では事業収入の減額による財政調整基金繰入金の追加などを主に補正するもので、補正後の総額は6,878万6千円

です。

農業集落排水事業特別会計(第2号) 3,357万8千円を減額

圏央道関連工事に伴う精算のほか、前年度からの繰越金を補正するもので、補正後の総額は2億1,502万2千円です。

質疑(要旨)

農業集落排水への接続率、一般会計からの繰入金についてお伺いします。

接続率は毎年少しずつ伸びていますが、接続促進のため戸別訪問を実

施して行います。一般会計からの繰入金については、毎年の地方債、元利償還金を平成45年度まで行います。

ガス事業会計(第3号)

収入では、工業用のガス使用量減による減額、支出については原ガス購入費、委託作業費、消耗品費の減額補正をするもので、補正後の総額は、収益的支出5億7,052万円、資本的支出2億2,879万円です。

道路線の変更

町道改良に伴い米満地先で1路線、小生田地先で1路線、佐坪地先で1路線、計3路線について、変更するものです。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の滝川秀雄氏(棚毛)が6月30日、石井敏夫氏(市野々)が9月30日をもってそれぞれ任期満了となるため、町長から再任したいとして、議会の意見を求められ、「適任」として答申しました。

氏名 滝川 秀雄 住所 長南町棚毛
氏名 石井 敏夫 住所 長南町市野々

※人権擁護委員として他に市原尚子氏(豊原)、手嶋知絵子氏(坂本)が法務大臣から委嘱され、ご活躍いただいております。

一般質問

鈴木喜市 議員

新設の農業支援補助金を問う

問 本年より農業経営支援策として、補助金制度を新設しましたが、この補助金により「集落の農地は集落で守る」との基本構想が実現できるのか伺います。

農地保全と規模拡大を図る支援策

答 町長 昨年、「長南町農業推進協議会」を発足させ幅広い意見を取り入れ支援策を決定しました。農用地の集積を推進し、効率的で生産性の高い農業を目指すため、大規模経営や営農組織化を図ることを基本構

想としています。新規支援策は、担い手不足や農業者の高齢化、耕作放棄地解消に対応する施策で、地域の農業は皆で守り維持していくことを目的としています。実現性や効果については、本年より実施する制度であり、現在は報告の段階にありません。

補助対象要件・補助率の見直しを

問 この補助金は、集落営農組織と個人農家に對する交付が同率ですが、集落営農組織設立に重点を置いた補助制度が好ましいと考えます。同率補助にしたい考え方について伺います。次に、農業推進協議会委員ですが、これから集落営農組織を設立し

ようと考えている小規模農家の代表が選任されていないので、委員選考経過についても伺います。

協議会に報告・検討

答 農業推進室長

集落営農組織と大規模農家を同時に育成したいと考え補助率を一律にしました。ただし補助限度額は集落営農組織に5千万円、個人農家を2千万円としました。次に農業推進協議会委員の選任ですが、営農組合、大規模農家、小規模組合生産農家の代表者で構成されております。今後、小規模農家に対しては、集落説明会等を行い要望や意見は協議会に報告し検討します。

集落全農家で取組む組織の育成

答 町長

これまで小規模利用組合に対し助成し農地集積に取組んできましたが、実現できなかった経緯があります。こうした課題を考慮し集落全農家で取組む、適正規模の組織に對する補助制度としましたのでご理解願います。

農産物の有利販売を

問

新設の補助金は、過疎地域自立促進特別事業基金を財源とし、地域農業推進基金は温存することです。この基金は長南産の農産物を有利販売するため、インターネットにより直接販売するソフトの構築と、メディアやインターネットで積極的に町の農産物をPRする資金として活用すべきと考えますが見解を伺います。

積極的に取組む

答 町長

過疎地域自立促進特別事業基金が長南町の農産物のPRに使用できるのか確認し、使用できればメディアやインターネットでのPRに積極活用したいと考えます。



▲坂本利根里地区の土地改良工事

石井正己 議員

長期保有の公有地について

問 県関連の保有地で、西部工業団地の跡地及び、空港代替地の小野田、小生田地先の土地について、民間保有の茂原ヒメハル団地の土地、また、蔵持長南地区開発の土地については、その後どのようになっているのか。次に町有地関係では、長南団子谷の特定非営利活動法人「あしたの国まちづくりの会」に貸してある土地と、芝原のザイクスビル長南に貸してある土地について無償貸与と思うが今後どうするのか伺います。

県有地については一部払い下げ

答 町長

長南西部工業団地については、県企業庁としては町に譲渡し、有益に利用してもらい

たいとの意向でありまた、小野田、小生田については、県が5haと町が15haを保有しています。しかもこの土地は山林が主で土地利用が図れないのが実情です。長南蔵持地区開発計画とひめはるニュータウン開発は住宅開発計画であり、圏央道の整備効果により土地利用が図られることを期待しています。

町有地についてはそのまま継続

答 町長

町有地関連ですが、「あしたの国まちづくりの会」には早期に学園が所有している坂本地区の校舎建設が進むことを期待している。また、ザイクスビル長南の施設用地は先人の契約したものであり、入所している町民は28人で全体の半分以上を占めていることと、町民を優先的に入所させてくれているなどのことから

公民館の改修について

問 今、町では文化協会がそれぞれのクラブで積極的に文化活動を実施しています。しかし、文化団体での作品の展示会場がなく非常に困っている。そこで、町中央公民館の中庭を利用して、展示会場を作ってほしいと思うがどうか。



▲公民館中庭の改修は

耐震調査結果と合わせて検討したい 答 教育長

町中央公民館の施設は各種の教室やサークル及び各種団体が活動する社会教育施設である。第4次総合計画の中でも、耐震調査と合わせ公民館の修理改修計画

が組まれている。今後は、改修計画と耐震調査結果を踏まえて、中庭の活用について検討して参りたい。



仁茂田 健一 議員

「元氣」を発信する町づくりについて

問 町長の考えている「元氣」とはどういったものか伺います。

10年後は「元氣な町」として

答 町長

元氣な町とは10年後の町の状態であると考えている。

具体的には、①町民が健康で生き生き過ごしている状態、②農業などあらゆる分野で活気がある状態、と考えている。この状態にする手段として協働や情報の発信が重要な条件である。具体的には24年度の予算では地デジ計画、防災無線のデジタル化、マスコットキャラクターづくりなどで「元氣」を発信したいと考えている。

小幡安信 議員



▲元氣な町を目指して

各小学校の統廃合について

問 各小学校の統廃合について教育環境整備の責任者である町長の考え方について伺います。

答 提言を尊重します

答 町長

学校規模適正検討委員会から提言された内容について尊重し、将来的には統合ということも視野に入れている。

高齢化社会に対応した医療費削減について

問 ①高齢者向け政策メニューと参加者の状況について。

② PPK（ピンピンコロリ）運動を推進することが、高齢者の医療費軽減に寄与すると思うが。

③ 高齢者向けに人生の締めくり方についての教育に取り組んではどうか。

④ 町の高齢者向け教室への参加率向上のため、福祉ポイント制を創設して、動機づけの一助としたらどうか。

答 考えは理解するが実現には難しい点が多い

答 町長

① 高齢者の健康の維持と増進を図るために「はつらつ元気教室」など8つの事業を実施しており、ある程度の参加者があります。

② 高齢者向けの運動事業はすでに行っています。本町の方は PPK 運動を知らない方が多いのではないかと。③ 今後文部科学省からの提言などの動向を見たり、町民からの要望等を聞きながら検討したい。④ 福祉ポイントを実施するには問題点が多い。

図書室の充実について

問 昨年の4月から茂原市立図書館に市民以外の貸出利用禁止の規約がつけられました。貸出し再開の申し入れをする気があるのかお聞きします。

千葉県立図書館の利用方法が変わり、今までより借りやすくなったと聞きました。利用方法が周知されているかお聞きします。



▲公民館の図書室

県立図書館は公民館を通して利用できます

答 教育長

茂原図書館は平成24年度中に貸出し再開の予定だと聞いています。県立図書館の利用方法は広報に掲載しながら周知していきたい。

防災対策について

問 長南町の震災時に発生するであろう帰宅困難者の問題、また町内企業との災害

協力協定について、他町村との災害協力協定について、長生郡市広域での防災訓練の実施計画等あればお聞かせ下さい。

答 計画策定の準備をしている

答 町長

帰宅困難者は原則として施設管理者に対応をお願いします。企業との災害協定を結ぶよう努めます。長生郡市広域災害対応計画の策定準備をしています。

大倉正幸 議員

友好都市構想について

問 本町においては、現在、国内外を問わず友好都市は残念ながら一か所もありません。友好都市をつくることにより、人の交流、物の交流、文化の交流など、さまざまなメリットが発生し、ひいては町の活性化、災害時における物資や人力の融通につながると思います。町長のお考えを伺います。

開通すれば、大都市圏内の市町村と友好を結ぶことで、都市と農村の交流促進の一助になるとは思います。が、相手方の市町村もあることですし、友好都市の締結は双方の市町村の足かせになつてはいけません。

今しばらくは、さまざまに市町村と交流する中で、双方の機運が高まる市町村があれば、皆さんの意見を聞きながら、友好都市の検討をしてみたいと考えております。

検討してまいります

答 町長

昨年の東日本大震災の際に、休館中のユートピア笠森を避難所として、被災者や避難者を受け入れましたが、友好都市が結ばれた市町村が被災したとなれば、また違った支援ができたと思います。また、圏央道が



太鼓森について

問 竹下内閣時代のふるさと創生事業に端を発し、本町では既に公園となりました野見金公園と熊野の清水公園の2か所のほかに能満寺古墳の周辺整備、そして太鼓森の公園整備と計4か所の公園整備の計画があったはず

です。太鼓森の公園整備について進捗状況があるとすれば、どのような状況なのか、進捗していないならば、今後どのように取り扱うのか、町長のお考えを伺います。



▲太鼓森公園整備は

とは出来ない状況だが保全是していきたい

答 町長

昭和63年、竹下内閣のもと、ふるさと創生事業が創設され、全国の市町村に一律一億円が交付されました。本町ではアンケートを実施し、住民の要望を聞いたところ、公園を希望する意見が多く寄せられ、平成2年度に長南ふるさとふれあい

公園基本計画を策定し、4か所の公園構想が提案されました。

笠森公園周辺、熊野の清水公園については、公園整備が出来ましたが、太鼓森公園と能満寺古墳公園は未整備となっております。

年々財政が厳しくなっている中で、太鼓森公園の整備を優先することは出来ない状況です。今は、長南町の指定文化財、庁南城跡太鼓森として保全をしてみたいと考えております。

加藤喜男 議員

町の活力向上対策について

問 町には、職員に町の業務に関する創意工夫を提案させる職員提案制度があります。この制度は、直ちに具体化、実施し得る提案であれば良く、報償の制度もあります。職員一人一人が危機感を持ち、自らの問題をとらえ「役場が変われば町が変わる」とのスローガンと一致し、本町の活力向上策には良いと思われませんが、状況は。

提案しやすい環境に

答 町長

職員の創意ある活発な行政事務の改善への取り組みが必要不可欠であります。残念ながら制度に基づく提案はございません。提案しやすい環境にしてまいりたい。

結婚相談制度について

問 農家にお嫁さんをとるの発想からか、事務局が農政管轄課ですが、農家だけの問題ではなくなっていることから、事務局を移管し、更なる強化を図っては。

各関係課等で協議

答 町長

事務局は、産業振興室です。人口は年々減少し、農村青年だけの問題でないのが現状です。相談窓口については、各関係課等で協議します。



白子町・長柄町・長南町・合同ふれあいパーティー
2011年11月27日(日) 13:30~
会場 グレートアイランド倶楽部
出合いはここから...

参加者募集
参加対象 男性：白子町・長柄町・長南町 在住または在勤の20歳以上
女性：居住不問で長身
※男性・女性いずれも概ね年齢30歳以上
※参加者の状況により送迎バスを予定
募集人員 60名程度(男性30名/女性30名)
※応募多数の場合は、抽選
参加費 男性：3,000円 女性：3,000円
募集期間 平成23年10月3日(月)から11月10日(木)まで
申込方法 白子町・長柄町・長南町各総合ホームページまたは、各町改革にある「参加申込書」に必要事項を記入し、郵送(いずれかの町役場へ)願ってください。

お問い合わせ先
白子町 社会福祉協議会 TEL: 0475-33-5746
長柄町 事業課産業振興班 TEL: 0475-35-4447
長南町 事業課産業振興室 TEL: 0475-46-3397

▲平成23年度に実施された合同ふれあいパーティーパンフレット

非常勤職員について

問

地方自治法に「報酬及び費用弁償の額並びにその支給の方法は、条例で定めなければならない」としてあります。本町では、「長南町一般職の職員の給与等に関する条例」の第9条を受け、「長南町一般職の臨時任用職員及び非常勤職員の給与及び勤務条件に関する規則」にて給与等を定めています。これでは条例で定めているといえるのか。また、期末手当は支給できるか。雇用は何歳位までが適当か。

具体的な内容は規則を定め支給

答 町長

この給料等の支給に当たっては、一般職の職員の給与等に関する条例の9条において、一般職の給与の額との均衡を失わない額において支給することができることと規定し、具体的な内容については、規則において定め、支給しているところとす。

雇用年齢の制限については、職務内容や個人の健康状態なども考慮されますので、一概に制限することは非常に難しい。

附属機関について

問

町の附属機関とは、外部の者を構成員として組織される機関で、設置については条例によります。先の定例会にて、本町には条例化されていない機関が16あるとの回答でした。条例化されている附属機関、条例化が必要な機関は。

必要な場合は速やかに条例化

答 町長

条例化が必要な機関は、行政改革推進委員会などの4機関、条例化されている機関は、固定資産評価審査委員会をはじめ18あります。県や近隣市町村などの調整の中で、必要な機関が判明したら、速やかに条例化を進めます。

森川剛典 議員

地上デジタル放送について

問 難視対策地域の工事進行状況と今後の取組みについて伺います。

答 町長 本年度予定している送信施設36箇所の工事は終了しており、3月12日正午より難視区域に地上デジタル放送波を発信する予定です。

地域公共交通について

問 長南町地域公共交通の運行の変更について、4月からの巡回バスの運行回数の変更によって運行効率や費用などに変更があるか伺います。

利用者の意向調査を予定しています

答 町長

4月1日からは、巡回バスの運行を2台から1台に変更して運行することになりました。地域ごとでは、西地区の児童が登下校で利用しているため、4便運行し、他の地区では午前中の利用が75%であるため、午前中を中心にそれぞれ2便ずつ運行します。新たなデマンドタクシーと併せ、利用が増えるものと予想しています。

また、巡回バスの費用は半額の787万円程度になると見込んでいます。

デマンド交通システムの導入について

問 デマンドの実証運行を始めたようですが、

①利用状況はどうですか、②周知活動は進んでいますか、

③使いやすい工夫を考えていますか、④費用はどれくらいかかりますか



▲実証運行中のデマンドタクシー

効率的で利用者に喜ばれるような運行方法を検討していきます

答 町長

初めての試みであり、不明な点も多くありますが、①年間2000人程度の利用を予想しています。②広報等で周知を行い、今後はひとり暮らしの高齢者などを対象に個別周知を検討。③当日予約、介護人の同伴など協議会で検討を加えています。④費用としては約500万円を見込んでいます。

農業の活性化について

問 農業の活性化と農業の六次産業化の取組みについて

平成23年3月1日、地域の農産物の利用促進に関する法律、通称六次産業化法が施行されました。

今後は自立した農業を目指すためにも町として農業の六次産業化や自立で行く方向で取組みをしている人たちの支援について伺います。

支援や助成を検討します

答 町長

地域で生産された農産物を加工販売の目的として事業を推進するものについての支援や国・県の助成対象になったもの等については、上乘せとして町独自の助成ができるように要綱等の検討をしていきたいと考えます。

丸島なか 議員

高齢者肺炎球菌ワクチン接種について

問 ワクチンは、肺炎球菌による肺炎全体の8割以上を抑えることができ、一度摂取すれば効果が5年以上持続します。現在、肺炎球菌ワクチンの接種は、一部の病気を除いて保険適用ではありません。全額自己負担が原則で、接種費用は8千円から1万円程度です。平成24年度予算で、肺炎球菌ワクチン接種の助成をすることのことですが、①対象年齢は何歳から、②助成の金額は、③実施時期は、④周知方法は、⑤助成の方法は、以上5点伺います。

7月頃から実施します

答 町長

①65歳以上全員を対象とし、②1人当たり3,000円を助成、③7月頃に予診票を送付する予定で、④対象者全員に

予診票を郵送する際に、予防接種の内容、補助対象となる医療機関等を明記すると共に、広報等に掲載し、高齢者肺炎球菌予防接種事業を周知します。⑤医療機関に助成額の3,000円を差し引いた額を支払うこととなります。実施は7月頃を予定していますが、7月以前に接種を受けた場合は、その領収書を保健福祉室の窓口に届けば、助成します。

庁舎のバリアフリー対策について

問 長南町は高齢者の割合が人口の3割を超えています。高齢者などが安心して暮らせる地域社会を実現する為、バリアフリー化が欠かせません。庁舎エレベーターの設置、階段の手すり設置や公民館調理室水道の蛇口の改善等について伺います。又、トイレの洋式化の改善については、各小学校施設の中でも、トイレの環境整備は非常に重要だと考えます。又、公民館等公共施設でも、腰痛や膝に痛みのある方など、洋式トイレに改善してほしいという声を聞きますが、町の考えを伺います。

耐震化と同時に検討します

答 町長

町の本庁舎は平成22年度に耐震診断を行い、耐震性は満たしていませんでした。この調査結果に基づき庁舎耐震補強工事を始める場合には、財政事情を考慮する中で改修年次計画を策定し、緊急度や要望の多いものなど総合的に判断し、計画的にエレベーターや本庁舎階段手すりの設置を考えていきます。町中央公民館でも耐震診断を実施しており、修理改修を行うと共にトイレの洋式化、調理施設整備等を検討します。又、各小学校の洋式トイレは、各棟、各階におおむね設置されているので、今後は必要に応じて教育委員会と協議して進めていく考えです。



▲庁舎東側階段に手すりの設置は

閉会中の継続調査報告書(要約)

防災対策に関する調査研究

総務常任委員長 森川剛典

議会各常任委員会の合同による議会閉会中の継続調査として「防災対策に関する調査研究」を目的として平成23年11月25日・26日の2日間にわたり静岡県長泉町および静岡県地震防災センターを視察しました。

特に長南町は自主防災組織の立上げが急務になっていることもあり、自主防災組織について長泉町の実績を踏まえた取り組みを学んでまいりました。

また、静岡市にある静岡県地震防災センターの視察では、東海地震が想定される静岡県の防災についての意識の高さや、取組みが進んでいることがわかりました。

まず、長泉町の防災対策については、自主防災組織がマンションや集落など自治会の特性や大小の単位があっても全町にくまなく立ち上げられていること。またその自主防災組織への住民の加入率が90%を超えており、流動的な部分を除けば、実質的には100%に近い数字といえるもので、長泉町の人口密度は1500人/kmを超え、都市型であるにも関わらずこの加入率が高いと実感させられました。

また、実際の防災訓練では地区割りされた3つの避難所に約25%の住民が参加しているというところで、行政の関与や取り組みが長い年月の中で地道に進められてきた結果、住民の意識の高さにつながっているものと思われました。

長泉町の自主防災組織は、近隣の市町村とも連携し、また、県・国などの組織についても連絡が取れる体制になっておりいざという時の孤立感さはさほど心配ないこともわかりました。

これらは静岡県が来るべく災害に対して、想

定して対策をしつかりと立てて取組んでいるからだと肌で感じました。

やはり、過去に何度も災害が発生しており、それが歴史上の記録や教訓として残っているところは違うなという印象も受けました。(現に長泉町ふるさとカルタの中にも「地震で湧き出た沼の湧水」などがあります)

今後は長南町でも長泉町にならない、自主防災組織の早期立上げはもちろん、防災想定マップにより自分たちが徒歩で行ける避難場所などの特定を進めていくべきだと思います。

次に、静岡県地震防災センターの視察では、映像によるものや地震起震車などの体験コーナーもあり、災害時(津波)の避難や対応が体感できました。

私たちの町ではなかなかこういう機会が得られませんが、今回の視察を通じて、災害時における被災状況の把握や住民の安否・避難場所の確認など、議員として何ができるのかについて、常に意識しておくべきであると痛感いたしました。



▲長泉町にて調査を実施



議会を傍聴してみませんか

傍聴の手続きは、受付簿に住所、氏名などを記入するだけです。

町議会では、皆さんの生活に密着した問題が審議されますので、あなたも議会の傍聴にぜひお越しください。(第1回定例会傍聴者数は、延べ11人でした。)

平成24年第2回定例議会は、6月に開会されます。

日程等の詳しいことは、議会事務局(46-3390)へお尋ねください。

皆さんの声を町政に

議会では、町民の皆さんのご意見やご要望を町政に反映させたいと考えています。

議会に関するご意見や議会報を読んで感じたことをお寄せください。

お待ちしております。

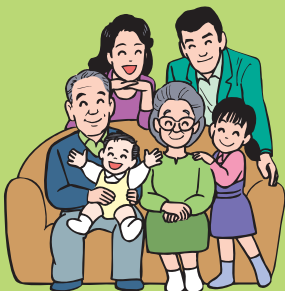
次回の議会報は、平成24年8月発行予定です。

TEL 0475-46-3390

FAX 0475-46-1214

e-mail:gikai@town.chonan.chiba.jp

長南町議会



議会活動日誌

平成24年

- 2/ 1 ガス事業運営協議会
- 2/ 7 第1回長生郡市広域市町村圏組合議会定例会(13日、24日)
- 2/15 議員全員協議会
- 2/16 千葉県町村議会議長会定例会
- 2/17 九十九里地域水道企業団理事会
- 2/20 議会運営委員会
- 2/28 第1回定例議会(～3/7)
- 3/ 2 第1回予算特別委員会
- 3/ 6 第2回予算特別委員会
- 3/13 長南中学校卒業式
- 3/16 各小学校卒業式
- 3/19 長生郡市広域市町村圏組合廃棄物減量等推進審議会
- 3/22 千葉県町村議会議長会政務研究会
- 3/23 保育所卒園式
- 4/ 3 保育所入園式
- 4/ 6 各小学校入学式
- 4/ 9 長南中学校入学式
- 4/11 議会広報特別委員会
- 4/18 議会広報特別委員会

図書カードが当たります!

3つの答えの中から正しいものを選びハガキに書いてお送りください。「議会報」を読めば分かります。

クイズ No.75

《応募方法》
ハガキに議会報の番号、答えの記号(例、問1 A)、住所、氏名、年齢、電話番号、職業(学校名)を記入のうえ応募してください。また議会報についてのご意見やご要望などを書き添えてください。全問正解者の中から、抽選で7人の方に図書カードをプレゼントします。
あて先
〒297-0101 92
長南町長南2-1-10番地
長南町議会事務局
締め切り 平成24年5月31日
(当日消印有効)

前回の全問正解者数は、9人で正解は問1=C、問2=B、問3=Aでした。当選者の発表は、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

- 問1 平成24年度長南町一般会計予算はいくらですか。
A、41億8,000万円
B、40億8,000万円
C、39億8,000万円
- 問2 平成24年第1回定例会で、何人の議員が一般質問を行いましたか。
A、7人
B、8人
C、9人
- 問3 常任委員会合同で視察を行った長泉町は、どの県にありますか。
A、新潟県
B、長野県
C、静岡県

編集後記

平成24年第1回定例議会は2月28日から3月7日までの9日間で行われ、平成24年度一般会計予算、特別会計予算等31議案すべて可決されました。

新議員も初めての予算議会ということで一生懸命勉強され色々質問されました。昨年初めての一般質問では「何でも質問すれば良い、しなければいけない」と、パフォーマンス的なものもありましたが、4回目となると町、町民のためと中身の濃い質問でした。クイズは毎回多数の応募があり、ありがとうございます。また、ご意見、ご要望、ご批判等書いていただきます。ご参考にしていただきます。これから見やすい、分かり易い読み易い議会報を発行してまいります。

(松崎 剛忠)